



3カ国同時中継！ハイブリッド型 英語課題研究ポスター発表会実施

7月16日(金)に、3年理数科によるハイブリッド型の英語課題研究ポスター発表会を実施しました。

海外からはオンラインでコペンハーゲン大学の森勇樹先生、シンガポールのSST(School of Science and Technology)から生徒5名と教員1名の参加がありました。また、審査員として校外のALT5名が参加しました。

本校からは、7つの研究テーマによるポスター発表が行われました。

オンラインでのオーディエンスは、カートに載せたビデオカメラやモニター、マイク等を利用して、各ポスターをオンラインでも現地にいる感覚で観覧できるようにしました。

活発な質疑応答も行われ、英語で発信する力が養われていました。



2年理数科 SSH委員インタビュー

今回は、3年生の英語課題研究ポスター発表会の運営に携わった恒松大喜君(2-S)のインタビューを紹介します。



2年理数科SSH委員 恒松 大喜 君

発表会での仕事内容

海外とオンラインで繋ぎ、ポスター発表をしている先輩をビデオで撮影する仕事を行いました。

発表を聞きながら、該当部分をズームをして撮影する必要がありました。英語での課題研究発表でしたが、正確に映せるように頑張りました。

先輩の姿を見て

研究内容を英語に翻訳するだけでも大変そうでしたが、それを英語で発表していてスゴイと思いました。

現在、ARIIで動物由来感染症について調査しています。英語の発表会でも内容が伝わるようしっかり頑張りたいです。

今後の意気込みと一言

将来、起業することを目標にしているため、外部の発表会等に積極的に参加しプレゼンテーション等のスキルを高めていきたいと思っています。

また、SSH委員としては、様々な分野の研究について皆さんに伝えられたらいいなあと思います。

SSH NEWS

ハイブリッド型ポスター発表会で必要な機器等

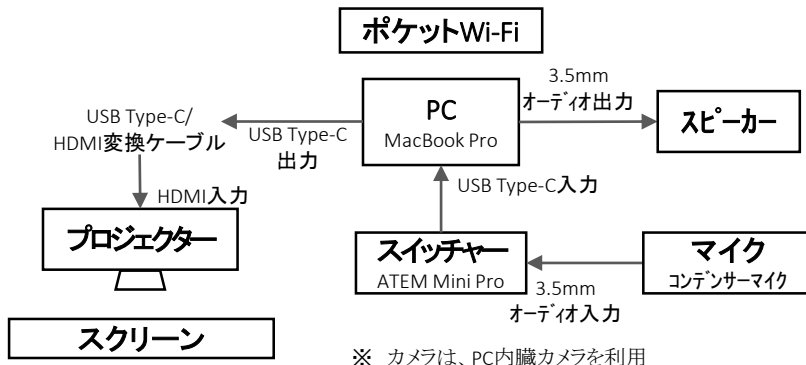


図1 全体会及び海外ポスター発表用セット

開会后、Zoomのブレイクアウトを利用して、SST発表者とホストをルーム1に、SSTオーディエンスと森先生、共同ホストをルーム2に分けました。この際、ルーム1は全体会及び発表用セットに投影し(図1)、ルーム2はオーディエンス用セットで投影しました(図2)。

オーディエンス用セットは全てバッテリー駆動とし、カートに乗せて自由に移動できるようにしました。なお、両セットとも、ハウリング防止の為、オーディエンス側のマイクは質疑応答時以外は、オフにして対応しました。

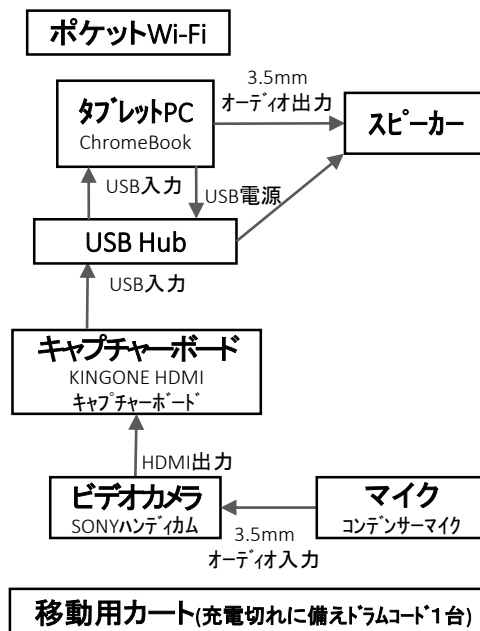


図2 オーディエンス用セット

英語課題研究ポスター発表会の3年生の感想

○英語だとしっかりと理解していないと質問に答えることができないので、準備を進める中で、理解が十分でないところをはっきりさせることができました。

○普段の授業と違い、自分の英語で相手とコミュニケーションを取りながら研究内容を伝えるという、大学生や社会人になっても役立つ貴重な体験ができました。

○今後、ALTの審査員の先生方にも、さらに多くの質問ができるように、自分の意見を英語で書き出していくことを習慣化させていこうと思いました。

※英語ポスターセッション用のルーブリック(英訳版)は、本校HPのSSHページに後日掲載予定です。